

I. 京都府立大学卒業生 就業状況調査 報告書 調査概要

1. 調査の目的

京都府立大学では、2013年度から男女共同参画推進室を設置し、男女が対等な構成員として、教育、研究、地域貢献及び大学運営を行うことにより、男女共同参画社会の実現に貢献することを目指した取り組みを推進している。

本調査は、このような取り組みを一層充実させていくため、本学の卒業生の就業状況を明らかにし、今後の研究者等の支援方策や、卒業生との連携の展開を検討する基礎データを得ることを目的に、本学同窓会の協力を得て実施した。

2. 調査内容

- ・ 調査対象：本学学部卒業後、5年・10年・15年を経過した766名。
本調査はライフステージごとの職業キャリアの変化を把握することと、復職希望を持つ卒業生の現状を把握するため、子育て期と想定される卒業生（卒業後5年・10年・15年）を調査対象とした。
- ・ 調査方法：同窓会名簿から該当年度の対象者を抽出。郵送配布、回収
- ・ 調査期間：2013年11月26日（火）～12月20日（金）
- ・ 調査票配布数：766名
- ・ 有効回答数：276名（女性211名、男性65名）
- ・ 有効回収率：36.0%

3. 調査項目

- (1) 回答者の属性
- (2) 卒業・修了直後の進路
- (3) 現在の仕事
- (4) 卒業・修了直後の進路から現在の仕事の変化
- (5) 非就労者の就労意向
- (6) 仕事と家庭を両立して仕事を続けるために必要なこと
- (7) 自由記述

5. 回答者内訳

卒業年度ごとの学部別の回答状況は下記の通りである。

【卒業年度ごとの学部別回答者 (図表0-1)】

(人)

卒業年度	卒業後年数	対象学部・研究科	合計	男性	女性
平成9年度 (1997年度)	15年	文学部・文学研究科	11	3	8
		福祉社会学部・福祉社会学研究科※ ¹	9	1	8
		人間環境学部・人間環境科学研究科※ ²	34	5	29
		農学部・農学研究科	23	12	11
		女子短期大学部 ※ ³	41		41
合計			118	21	97
平成14年度 (2003年度)	10年	文学部・文学研究科	10	3	7
		福祉社会学部・福祉社会学研究科	10	2	8
		人間環境学部・人間環境科学研究科	31	6	25
		農学部・農学研究科	23	10	13
合計			74	21	53
平成19年度 (2007年度)	5年	文学部・文学研究科	7	0	7
		福祉社会学部・福祉社会学研究科	11	2	9
		人間環境学部・人間環境科学研究科	43	10	33
		農学部・農学研究科	17	9	8
合計			78	21	57
学部不明			6	2	4
総合計 (a)			276	65	211
送付数 (b)			766	241	525
有効回収率 (%) (a/b)			36.0%	26.9%	40.1%

※¹平成20年度 (2008年度)、福祉社会学部は、公共政策学部に改組。

※²平成20年度 (2008年度)、人間環境学部・農学部は、生命環境学部に改組。

※³女子短大部は平成10年 (1998年) 3月31日で廃止。